

授業において1人1台端末を日常的に活用しているイメージ

端末を日常的に活用するとは、どういうこと？



教科の学びを深め 教科の学びの本質に迫るために

生徒が活用する視点

日常的に活用

教師が活用する視点



「生徒・教師」2つの視点を取り入れた授業になっていますか？



学習場面に応じた活用例

【協働学習の場面】

- ・同時編集等で自分の意見を表明したり、他者と意見を共有したりする機会を頻繁に確保している。
- ・より効果的に知識・技能を習得するために、対話的な学びにおいて端末を活用している。

【一斉学習の場面】

- ・教師が指示したときだけ端末を活用するだけでなく、授業内容に関して端末を使って調べたり、メモを入力したりする機会を確保している。

など

ステップ1

主な活用パターン

- ・Classroom等で授業で使用するプリント等を配信する。連絡事項を掲載する。
 - ・授業で参照するウェブページのURLを生徒が閲覧しやすいように提示する。
 - ・フォーム等により、アンケートや小テスト、学習の振り返り等に取り組みせる。
 - ・プロジェクタで提示していた画面をMeet等により生徒の端末に配信しながら説明する。
 - ・同時編集機能等を活用して交流を行わせる。
- など

高 易

活用頻度 活用難易度

低 難

ステップ2

- ・ステップ1の活用に加え、教科等の目標の実現に資する効果的な活用を広げる。

ステップ3 教科の学びをつなぐ。社会課題等の解決や一人一人の夢の実現に活かす。

ステップ2 教科の学びを深める。教科の学びの本質に迫る。

ステップ1 「すぐにでも」「どの教科でも」「誰でも」活かせる1人1台端末

<ICTを活用した学習の段階的な導入>



教科・科目の目標達成のためのICT活用
(授業改善の視点)

教科・科目の年間指導計画、単元の計画、学習指導案等にICT活用の視点を記載するなどの工夫が必要。

(生徒が活用) 授業中、生徒が端末を使う機会を確保している。	(教師が活用) 日常の授業で、端末を活用している。 最低限ステップ1		日常的に活用していると言える。
○	○	→	○